

**日本最大級の処方データベースを運営する医療情報総合研究所(略称：JMIRI/ジェイミリ)が
ウェブ処方サービス第三弾、JMIRI ウェブ処方インサイト Dynamics のサービス提供開始
～患者ベースの医薬品市場動向をひと目で見渡せる分析ツール～**

医療情報サービスを手がける株式会社医療情報総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役；大橋青史）は、既に十数社の企業ユーザーにご活用いただいている JMIRI ウェブ処方辞書、JMIRI ウェブ処方インサイト Flow に引続き、患者ベースで医薬品市場動向を解析することができるウェブ ASP ソリューション「JMIRI 処方インサイト Dynamics」のサービス提供を 2011 年 6 月 15 日より開始いたします。

現在、製薬業界は、国家的なジェネリック医薬品の推進、いわゆるブロックバスターと呼ばれる大型商品の特許切れ問題、世界的大企業同士の合併など、大きな転換期を迎えつつあります。そのような環境の下、個々の医薬品間の競争はますます激しさを増し、従来型の営業・マーケティング手法だけでは競争を勝ち抜くには困難な状況になっています。

現在多くの製薬企業が、プロダクトマーケティングの基盤として卸出荷ベースの市場データを用いています。しかし、その普及度の高さ及びデータ特性ゆえに、差別化につながる洞察を得難くなりつつあるとの声も聞かれています。一方、マーケティング施策の差別化につながるインサイトを得る市場データとして注目を集めているのが、処方（調剤レセプト）データです。処方データには、卸出荷データでは得られない、患者毎の医薬品処方実態が正確に反映されています。

JMIRI 処方インサイト Dynamics は信頼性の高い JMIRI 処方情報データベースを基に、処方患者数ベースの市場動向を、迅速に、且つ、見やすく表示できる新たなユーザーインターフェースを提供いたします。

JMIRI 処方インサイト Dynamics の特徴は匿名化された患者 ID の活用により、個々の患者様の実処方履歴を正確に反映した、患者ベースの医薬品市場動向をトラッキングできる点にあります。市場全体からプロダクトベースの患者セグメント分析、医薬品間の切替/追加といった詳細レベルの分析まで、ドリルダウンしながら市場のダイナミズムを確認することが可能です。このような機能をいつでも好きな時に調査が実行できるクラウド環境のウェブ ASP サービスとして提供いたします。サービスの提供は、ニーズの高い糖尿病領域（インスリン、経口糖尿病薬、GLP1 アナログ）から開始し、高血圧（降圧剤）、認知症治療薬、骨粗鬆症治療薬、緑内障治療薬、などの領域で順次サービスを拡大していく予定です。

 JMIRI DYNAMICS
ウェブ処方インサイト の特徴

- ◎ 患者ベースの医薬品市場動向が一目で見渡せる、直感的なインターフェース
- ◎ 日本最大級（年間 1,000 万枚規模）の処方情報データベースから市場レベル・プロダクトレベル・詳細レベルのドリルダウン型市場分析を実現
- ◎ 疾患領域（サービス開始は糖尿病から）毎に分析対象とする薬剤のブランドを指定可能

